

第3回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会

議 事 録

1. 開催日時 平成23年1月17日(月) 14:00～15:30

2. 開催場所 奈良県中小企業会館 中会議室A・B(4階)

3. 出席者

会長代理 奈良県土木部次長

委員 近畿運輸局奈良運輸支局長

委員 奈良市自治連合会代表

委員 社団法人奈良市観光協会会長(代理:専務理事)

委員 社団法人奈良県バス協会専務理事

委員 奈良交通株式会社乗合バス事業部長(代理:シニアリーダー)

委員 奈良県タクシー協会奈良市部会代表

委員 奈良県奈良警察署長(代理:交通第一課長)

委員 奈良県警察本部交通部交通規制課長(代理:交通規制課係長)

委員 奈良県奈良土木事務所長

委員 奈良市企画部長(代理:企画部次長)

事務局 奈良県土木部道路・交通環境課

4. 議 事

◆ 事務局より以下について説明を行いました

- ・ 第2回協議会での審議内容について説明。
- ・ 観光客を対象に春と秋に実施した調査を基に、公共交通に関する課題分析とその対応策（案）について説明。
- ・ 既存調査から日常交通に関する問題として通勤交通を抽出し、対応策（案）を検討するのに必要な調査計画について説明。
- ・ この協議会ではソフト対策を中心に議論していくことを説明。
- ・ 今後の予定として今年度中に連携計画を策定（日常交通は来年度、連携計画に追加）することを説明。

◆ その後の審議のなかで、以下の点について意見が出ました。

（観光交通）

- ・ 平城遷都 1300 年祭で公共交通での来場者数が想定より多かった理由をしっかりと検証する必要がある。
- ・ 渋滞については、観光交通と日常交通に分けて検討する必要がある。
- ・ 施策内容については、予算制約も含めて実現性をしっかり考慮しておく必要がある。
- ・ パークアンドバスライドへの案内誘導については、目的地の近くまで車で行きたいのが、来訪者の心理なので、情報の出し方を工夫する必要がある。
- ・ 駐車場予約制について、現状の渋滞発生状況と予約制による効果について、シミュレーションしておく必要がある。

（日常交通）

- ・ 奈良市では焼却炉の移転を協議しており、東に移転を考えているが、収集車のルートが渋滞多発地点と重なっている。行政機関内で相互に情報を共有してもらいたい。
- ・ 通勤交通に関する調査対象リストには、官公庁・学校関係も含めて実施する必要がある。

◆ 次回協議会では、奈良中心市街地公共交通総合連携計画の計画目標と実施施策の詳細について議論を進めていくこととなりました。